

# CPDDA32 CPU 電源モジュール

CompactPCI CPU 2重化電源/5V, 3.3V 供給



## ■ 概要

- \* 入力電圧  
AC85~264V/DC90~300V
- \* 定格出力電圧及び電流  
(下記2パターンの組合せが可能)  
①DC5V×16A/DC3.3V×7A  
②DC5V×5A/DC3.3V×20A
- \* 2重化対応  
突き合わせダイオード(5V,3.3V共)内蔵
- \* 互換機種  
CPDDA31と互換
- \* 互換利用不可能機種  
CPDDA01、CPDDA11、CPDDA21

項目	仕様
入力電圧	AC85V~AC264V (47~63Hz) DC90V~DC300V
出力電圧	DC5V×16A / DC3.3V×7A 又は DC5V×5A / DC3.3V×20A
効率	58%以上
警報出力	1a+1b接点/5V, 3.3V各出力
インジケータ	LED×2 5V出力電圧正常 3.3V出力電圧正常
チェック端子	5V×1, 3.3V×1 (突き合わせダイオード下流)
出力電圧調整範囲	定格電圧±10%
出力保護	過電圧保護(手動リセット) 過電流保護(自動リセット)
環境条件	(動作時) 周囲温度: 0 ~ 55 °C 周囲湿度: 20 ~ 90 % RH (結露なきこと)  (保管時) 周囲温度: -10 ~ 55 °C 周囲湿度: 10 ~ 95 % RH (結露なきこと)
耐電圧	AC2500V 1分間(1次-2次間) AC2500V 1分間(1次-筐体間) DC500V 1分間(2次-筐体間)
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500Vメガ)
外形寸法	173mmH×81mmW×165mmD

### <感電、及び高温の警告標識について>

本製品の基板は、高電圧回路を含み、高温部分があるため、保守作業中には感電、または火傷の危険があります。そのため、製品には左図のように感電、及び高温の警告標識をマーキングしております。

つきましては、次の点に注意してお取扱ください。



感電の警告標識



高温の警告標識

・本製品の取扱いについては、User's Guide を十分にお読みいただき、注意事項に従ってください。

・本製品の動作中、開口部より、故意に本製品の基板部分には触れないでください。

・保守交換時に本製品を引き抜いた後、内部の充電電荷が放電されるまで(電源OFF後、約10秒間)、本製品の基板部分には触れないでください。

・保守交換時に、内部の基板や部品が高温となっていますので、直接触れず、十分注意して本製品を取扱ってください。

ご使用の際は、製品に添付の取扱説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

本書掲載の製品説明は、製品改良などのために実際の製品と異なっている場合がありますのでご了承下さい。

DIASYS Netmation / DIASYS Netmation4SIは、三菱重工工業株式会社の登録商標です。

文中に記載されている他社の製品名、サービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。